

「 課題研究 」	教 科	工業	単 位 数	3 単 位
	学科、学年、組	機械科、 3 学年、 1 組		
使用教科書	「 なし 」			
副教材等	「 資料等 」			

### 1 科目のねらい (目標)

学習の到達目標	<p>工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1) 工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 工業に関する課題を発見し、工業に関わる者として独創的に解決策を探究し、科学的な根拠に基づき創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
---------	--

### 2 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、以下の観点についてそれぞれA B Cで評価し、各観点の割合を基に評定（5段階）で総括します。

評価の規準 A：十分満足できる、B：おおむね満足できる、C：努力を要する

評価の観点及び内容		観点の割合	評価方法
知識・技術	工業に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 工業に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解している。	35%	実技内容（工程、手順など）、成果物、レポート
思考・判断・表現	工業に関する基礎的技術を身に付けるための課題解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	30%	実技内容（課題対応など）、レポート（考察）、課題研究ノート
主体的に学習に取り組む態度	工業に関する基礎的技術について関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	35%	実習への取り組み状況、レポート（反省や考察）

### 3 学習計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1	意義・目的説明 メンバーの決定 年間計画書作成 実施計画書作成 基本・詳細設計 各種作業 関係内容の学習 詳細資料作成 部品等購入 各種作業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題研究ノート(毎時間記入)させる。</li> <li>・作業内容記録が詳細に記録させる。</li> <li>・自分の考えが具体的にまとめさせる。</li> <li>・協力して積極的にテーマ決定に参加させる。</li> <li>・自分の考えを具体的にまとめられる。</li> <li>・問題解決に向けて、それぞれの作業をさせる。</li> <li>・共同作業、安全作業をさせる。</li> <li>・問題解決に向けて、それぞれの作業をさせる。</li> <li>・関係の学習をさせる。</li> </ul>
2	関係内容の学習 詳細資料作成 各種作業 関係内容の学習 発表用資料作成 プレゼンテーション作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションの各方法、ソフトの使用方法について理解させる。</li> <li>・研究や、製作過程を分かりやすくまとめさせる。</li> </ul>

3	<p>プレゼンテーション練習  科内発表会  全体発表会  次年度への引継ぎ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイントなどのプレゼンテーションソフトを使って分かりやすい発表を実践させる。</li> <li>・訴えたいものが十分に表現させる。</li> <li>・発表会において質疑応答が積極的にさせる。</li> <li>・適切な言葉、声、態度、内容を心がけさせる。</li> <li>・発表を聞く態度を理解させる。</li> <li>・発表会の進行を協力して進めさせる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度に向けて、有効な資料を残させる。</li> </ul>
---	--	---